

総事業費

約 **10** 億円

緊急事態宣言解除後の経済活動の再開に伴う、全国的な感染者数の増加を受け、今後は、一人ひとりが『新しい生活様式』を積極的に実践し、感染防止の取り組みを徹底する必要があります。戸田市では、新型コロナウイルス感染症への感染防止の取り組みとして、ウィズコロナ時代の『新しい生活様式』を踏まえた対策事業を実施することで、市民のくらしの安心を守ります。

① 新しい生活様式の定着

- 市民向け「新しい生活様式」オンラインセミナーの開催
- 企業向け「コロナ禍の企業経営」オンラインセミナーの開催
(感染症BCP整備やテレワーク導入のポイント等)
- デジタル市役所、テレワーク推進
- 新しい生活様式導入ガイドの作成及び配布
- 新しい生活様式 市民のアイデアの募集・共有
- 新しい生活様式の普及・定着促進
 - ・ 彩の国「新しい生活様式」安心宣言の普及定着
 - ・ 保健師による出前講座(オンライン方式)の実施
 - ・ 企業へのコンサルティング事業実施 等



② 子どもの学びの機会と子育て環境を守る

- 小中学校へサーモグラフィーカメラ等を配備
- 修学旅行キャンセル料を助成
- 学習用パソコンを児童生徒1人1台程度配備
- GIGAスクールに対応した校内LAN環境の整備
- 小中学校へのスクール・サポート・スタッフ等の配置
- 学童保育室へ減収保育料等を助成
- 民間保育所へ非接触型体温計等購入費を助成
- 乳幼児健診の個別健診を実施



① 新しい生活様式の定着

- ・新しい生活様式の定着に向け、社会全体で取り組む機運の醸成
- ・正しい知識の普及啓発と、好事例の横展開を推進



コロナと共存できる、安心安全のまちづくりの推進！

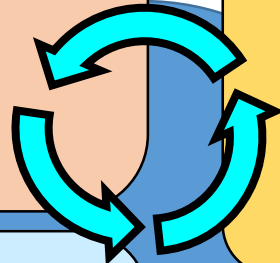
○ 新しい生活様式導入ガイドの作成・配布

- ・新しい生活様式の啓発のため、職場、学校、家庭等に応じたリーフレットの作成及び配布

○ 新しい生活様式 市民のアイデアの募集・共有

- ・新型コロナウイルス対策市民活動支援補助金活用の事例紹介等

知る



○ 新しい生活様式の普及・定着促進

- I 彩の国「新しい生活様式」安心宣言の普及定着
- II 新しい生活様式対応アプリ(COCOA、LINE等)の普及促進
- III 保健師によるオンライン方式による出前講座の実施
- IV 新しい生活様式普及啓発ツールの配布
- V 企業へのコンサルティング事業の実施

拡げる



○ 市民向け「新しい生活様式」オンラインセミナーの開催

- ・専門家(蕨戸田市医師会等)、著名人によるオンライン講演会

○ 企業向け「コロナ禍の企業経営」オンラインセミナーの開催(感染症BCP整備やテレワーク導入のポイント等)

- ・連携協定の締結企業との協働により実施

○ デジタル市役所、テレワーク推進

- ・スマートフォンを活用した行政手続の試行
- ・職員テレワーク環境整備による市民サービスの安定提供

参加する



新しい生活様式 の定着へ

・新しい生活様式が定着する中で、子どもたちの学びの機会や保育の場等を確保するための取り組みを推進

▶ コロナと共存できる、安心安全の子育て環境を築き、守る！

学 び

○小中学校へサーモグラフィーカメラを配備

- ・すべての小中学校(18校)へサーモグラフィーカメラ、消毒液等の感染防止用備品を配備



○修学旅行キャンセル料を助成

- ・感染拡大防止による修学旅行の日程変更等に伴い発生するキャンセル料を助成



○学習用パソコンを児童生徒1人1台程度配備

- ・児童生徒(11,519人)向けに学習用パソコンを1人1台程度配備



○GIGAスクールに対応した校内LAN環境の整備

- ・GIGAスクール構想の実現に向けて、すべての小中学校の校内ネットワークを増強



○小中学校へのスクール・サポート・スタッフの配置

- ・すべての小中学校へスクールサポートスタッフを配置



○小中学校への教育支援補助員の配置

- ・すべての小中学校へ教育支援補助員を配置

保 育

○学童保育室へ減収保育料等を助成

- ・児童の受入自粛要請に伴う学童保育料の減収分を補填
- ・臨時開室に係る人件費等及び感染拡大防止に係る消耗品購入費等を助成



○民間保育所へ非接触型体温計等購入費を助成

- ・民間保育所へ感染防止用備品等(非接触型体温計、マスク、消毒液、空気清浄機等)の購入費を助成



保 健

○乳幼児健診の個別健診を実施

- ・1歳児健診及び2歳6か月児歯科健診を医療機関における個別健診により実施

